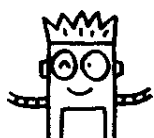


ふたらさんじんじゃ
日光の二荒山神社は、どんな神社なの



なんたいさん によほうさん たろうさん
男体山の神、女峰山の神、太郎山の神の3神を
祭っている神社だよ。

3神を祭っている神社

日光の二荒山神社は、3神を祭っている神社で、農業・福德の神として信仰を集めています。主神の おおなむちのみこと 大己貴命 は男体山（二荒山）の神、きさきの たごりひめのみこと 田心姫命 は女峰山の神、子の あじすきたかひこねのみこと 味耜高彦根命 は太郎山の神です。神社の本社は日光市山内（東照宮の西側）に、中宮は なかみや ちゅうぜんじこ 中禅寺湖のほとりに、奥宮は おくみや ちやうじやう 男体山の頂上 にあります。滝尾神社・本宮神社なども、二荒山神社に所属する神社です。日光という地名は、二荒を「にこう」と読み、それに「日光」の字をあてたもの、といわれています。

新宮が二荒山神社になった

二荒山神社は、古代からの、男体山を主峰とする日光連山に対する人々の信仰が起源、といわれています。767年に しょうどうしょうにん 勝道上人 によって、今の本宮神社の場所に本宮が建てられ、850年には3神を合わせた新宮が、今の二荒山神社の場所に建てられました。鎌倉時代から、新宮権現（男体山の神）・滝尾権現（女峰山の神）・本宮権現（太郎山の神）が、修験道の信仰の対象 になり、日光三社権現とよばれました。1871年、神道と仏教を分ける しんぶつぶんりれい 神仏分離令 によって、新宮が二荒山神社になりました。



朱ぬりの神橋（しんきょう）は、二荒山神社の橋なのよ。

ことばの意味 修験道 日本の古くからの山岳信仰に、仏教・道教などが加わった宗教。